

Ⅲ 花巻市役所地球温暖化対策実行計画(第2期)の進捗状況

1. 花巻市役所地球温暖化対策実行計画(第2期)の概要

花巻市役所地球温暖化対策実行計画(第2期)は、地球温暖化対策の推進に関する法律(以下、「温対法」という。)に基づき、市の事務・事業の実施により排出する温室効果ガスなどの現状を把握するとともに、温室効果ガスの削減目標の達成を目指して職員一人ひとりが率先して行動し、地域の模範となって市全体の地球温暖化対策の推進を図ることを目的に、平成28年3月に策定しました。

計画期間	平成28年度から令和2年度(5年間)
基準年度	平成26年度
計画対象	(1) 温室効果ガスの種類 温対法第2条第3項に掲げる7種類のうち、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボンの4種類 (2) 事務・事業の範囲 地方自治法に定められたすべての行政事務で、市の職員が直接実施する事務・事業 (3) 組織・施設の範囲 市の事務・事業を行う全ての組織や施設
計画目標	(1) 温室効果ガスの総排出量に関する目標 温室効果ガスの総排出量を令和2年度までに平成26年度比で4.5%以上削減 (2) 個別の措置の目標 電気の使用量を、基準年度に比べて令和2年度までに5.8%以上削減
取り組み内容	(1) 省エネ・省資源の取り組み(電気使用量、空調・給湯機器等燃料使用量、公用車の燃料使用量、水・紙使用量の削減) (2) 廃棄物の減量と3Rの取り組み(廃棄物の発生抑制、再使用・リサイクルの推進) (3) グリーン購入の推進 (4) 関係部署における環境配慮の取り組み(環境に配慮した設計・施工、施設・設備管理、イベント、外部への協力依頼)

2. 計画目標に対する実績

(1) 温室効果ガスの総排出量に関する目標の実績

本実行計画における平成30年度の実績は、基準年度比で22.6%削減し、削減目標である4.5%以上削減を達成しました。

削減の要因としては、契約電気事業者の排出係数の減少及び市内中学校10校の契約電気事業者の変更による排出係数の減少があげられます。また、暖冬で積雪量が少なく、除雪

車や消雪設備の使用が減少したことに伴い、灯油や軽油の使用量が減少したことも影響しています。

温室効果ガス総排出量の実績

(単位：kg-CO₂)

項目	平成26年度 (基準年度)	平成29年度	平成30年度	構成比	基準年度	前年度	
					増減率 (4.5%以上 削減)	増減率	
温室効果ガス総排出量	18,243,063	16,560,849	14,113,246	100.00%	-22.6%	-14.8%	
内訳	二酸化炭素 (CO ₂)	17,606,958	15,948,842	13,476,367	95.49%	-23.5%	-15.5%
	メタン (CH ₄)	289,175	281,825	287,625	2.04%	-0.5%	2.1%
	一酸化二窒素 (N ₂ O)	341,210	323,032	342,104	2.42%	0.3%	5.9%
	ハイドロフルオロカーボン(HFC)	5,720	7,150	7,150	0.05%	25.0%	0.0%

※ 温室効果ガス総排出量…各温室効果ガスに温対法施行令第4条に定められたに温暖化係数をかけて算出しています。なお、同施行令の改正により、平成27年4月1日から地球温暖化係数は下記のとおり変更されています。

- ①メタンの地球温暖化係数 25 (改正前 21)
- ②一酸化二窒素の地球温暖化係数 298 (改正前 310)
- ③ハイドロフルオロカーボンの地球温暖化係数 1,430 (改正前 1,300)

(2)個別の措置の目標に対する実績

電気の使用量の実績では、基準年度比で3.2%の減少となり、前年度と比較しても減少しましたが、削減目標である5.8%以上削減は達成できませんでした。

削減の要因としては、照明のLED化や、暖冬により暖房設備の使用量が減少したことなどがあげられます。

電気使用量の実績

項目	平成26年度 (基準年度)	平成29年度	平成30年度	基準年度	前年度
				増減率 (5.8%以上 削減)	増減率
電気 (千kWh)	22,330	23,051	21,622	-3.2%	-6.2%

※ 千 kWh 以下は四捨五入